

QOL向上を目指す専門職間連携教育用教材

産声が聴きたい ～育児希望のある不妊症夫婦への支援を考える～

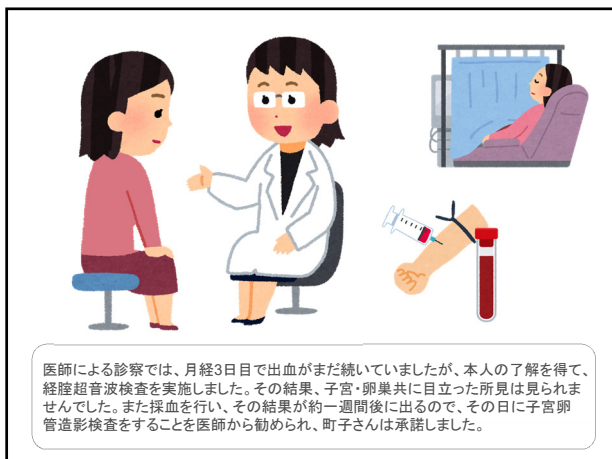


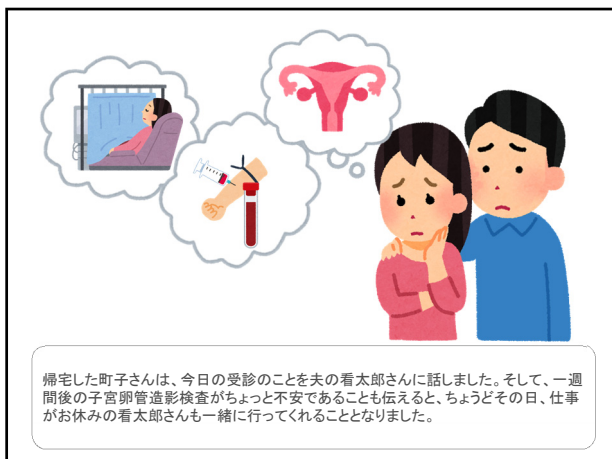
保育士の島見町子さんは、現在30歳。28歳のとき、3年間交際していた4つ年上のサラリーマンの看太郎さんと結婚しました。

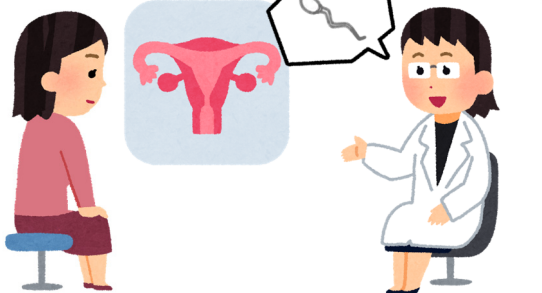


結婚して1年が経ちますが一度も妊娠には至っていません。互いに子どもが大好きで、周りの友人や同僚が次々に結婚し子どもを授かっていくなか、町子さんは、不安と焦りが生じ夫に相談しました。夫からは「そうだね、そんなに心配なら行ってくるといよ」と言われ、とりあえず一人で初めて産婦人科を受診することとなりました。









一週間後、夫婦で産婦人科に向かい、町子さんが子宮卵管造影検査を無事に終わると、医師から「前回の採血も、本日の子宮卵管造影検査の結果も、特に異常はありません」と結果説明がありました。そして「せっかくだと今日、ご主人も来ているようなので、ご主人の精液検査をしてみてもどうですか？」と勧められ、看太郎さんは少し驚きましたが、検査を受けることにしました。



精液検査の結果、医師から「自然妊娠するには、ご主人の精子が少なめのようです」と説明がありました。町子さんは一瞬驚きましたが、それ以上に夫の看太郎さんの落胆した様子がありました。医師から一回の検査では確定診断はつかないこと、2週間後にもう一度精液検査を受けることを勧められ承諾しました。



帰りの車中、看太郎さんは「ずっと子どもができなかったのが、僕のせいだったとしたら、ホントごめんね」と町子さんに伝え、町子さんは、「大丈夫だよ。子どもは欲しいけど、子どものことだけで結婚したわけじゃないし、まだできないって決まったわけじゃないよ。これは二人のことだから、やれるだけのこと、一緒に頑張ろうよ」と看太郎さんに伝えました。



2週間後、看太郎さんは町子さんと一緒に来院し2回目の精液検査を受けました。医師から本日の精液検査の結果は正常であったことが伝えられ、「**精液検査は、その時の体調や環境によって変化することがあり、ご主人の場合、特にそうしたことが影響しやすいのだと思います。でも、きょうのように良い結果の日もあるようなので、このまましばらくは夫婦生活で授かることを目指していくことはどうでしょう。奥様は定期的に排卵することができるように飲み薬を飲んでもらって、排卵に合わせてタイミング療法でまずは頑張ってみませんか**」と説明があると、二人は安心し、夫婦ともにタイミング療法に同意しました。
 今回の受診は、3か月間様子を見て、妊娠の徴候が無ければ月経3日目に受診、妊娠の徴候がある場合はその時に受診をするようにと指示がありました。



妻	身長	: 158cm	夫	身長	: 178cm
	体重	: 50kg		体重	: 85kg
	既往歴	: なし		既往歴	: なし
	現病歴	: なし		現病歴	: 花粉症
	飲酒	: なし		飲酒	: ビール約500ml/日
	喫煙	: なし		喫煙	: 20本/日
	職業	: 保育士		職業	: 会社員(パート勤務)

基礎情報は、スライドで示したようになっています。




結婚を機に新潟市内のマンションを購入して夫婦で住んでいます。町子さんの勤務先の保育園へは、自家用車で片道30分をかけ通勤しています。ほぼ平日勤務で、早出の時は7:30~16:30、遅出の時は10:30~19:30、隔週で土曜日の勤務もあります。



夫の看太郎さんは、デパートの情報管理部に勤務し、片道10分ほどかかる通勤は、天気が良ければ自転車を利用し、悪天候の時はバスを利用しています。ほぼデスクワークであり、土日やイベントのある繁忙期は勤務日で、平日がお休みになることが多く、妻の町子さんとはすれ違いが多い。映画鑑賞や散歩など共通の趣味で帰宅後の時間を有効活用して、二人の時間を大事にしています。

診断名	：原発性不妊、乏精子症		
治療方針	：クロミッド®（月経3日目から7日目まで每晚1錠ずつ／5日間） 内服によるタイミング療法		
その他の所見	：妻の採血結果		
LH	5.4 mIU/ml	HBs-Ag	(-)
FSH	6.1mIU/ml	HCV-Ab	(-)
E2	182pg/ml	HIV-Ab	(-)
PRL	10.4 ng/ml	TPPA	(-)
TSH	2.46nIU/ml	RPR定性	(-)
AMH	5.56ng/ml	WBC	5400/mm
抗精子抗体	(-)	RBC	406/mm
抗核抗体	正常 (40倍未満)	HGB	12.1g/dl
抗リン脂質抗体	(-)	HCT	36.4%


医学的情報①は、スライドで示したようになっていました。次のスライドでは、医学的情報②として、妻の子宮卵管造影検査画像、夫の精液検査結果があります。

妻の子宮卵管造影検査結果	夫の精液検査結果	
	1回目	2回目
	精液量	1.6ml 2.0ml
	精子濃度	1400万/ml 1900万/ml
	総精子数	3600万/ml 4200万/ml
	前進運動率	44% 46%
	総運動率	62% 67%
	正常形態率	16% 28%
	白血球数	- -

医学的情報②は、スライドで示したようになっていました。

課題

- ① ゴール（目標）は何か。
- ② ①を目指す中での予測される問題点は何か。
- ③ ①②を踏まえて、この事例夫婦にとって必要な支援は何か。



QOL向上を目指す専門職間連携教育用教材

産声が聴きたい

～育児希望のある不妊症夫婦への支援を考える～

制作著作 Copyright © 2019
新潟医療福祉大学

原案 Portions Copyright © 2019
山口 典子(新潟医療福祉大学)、佐藤 郁美(新潟医療福祉大学)
